

ロゼ

文化情報誌 ロゼ

Art information of Fuji city Vol.16
SUMMER
Culture Magazine R O S É 1996

夏号



vol.16



ロゼ

富士市文化情報誌 ロゼ 1996年7月発行 (第16号)
発行 (財)富士市文化振興財団 〒416 富士市蓼原 1307 番地の8 TEL(0545) 60-2510(代)
企画・編集・制作 (財)富士市文化振興財団事業課広報係 アドスペース エービック株式会社 アタゴオル

若き国際音楽家たちとの出会いを胸に。

- ★9月5日(大ホール) 入場無料★
 - 18:30~21:00 オープニングセレモニー
 - 第1部セレモニー
 - 第2部富士市高校選抜吹奏楽団・歓迎演奏
 - 富士市の郷土芸能(太鼓・大龍の舞・神楽等)
- ★9月6日(大ホール) チケットによる入場★
 - 18:30~21:00 オークストラと合唱のコンサート
 - オークストラ演奏
 - アメリカ・コロラド大学
 - ニュージーランド・アオテア・ユース・シンフォニー
 - オークストラと合唱
 - シンガポール・SIOC(民族音楽)
 - 合同演奏
 - コロラド大学とアオテア・ユース・シンフォニー
- ★9月7日(大ホール) チケットによる入場★
 - 18:30~21:00 吹奏楽と合唱のコンサート
 - 吹奏楽演奏
 - シンガポール・NUSシンフォニックバンド
 - 富士市高校選抜吹奏楽団
 - 合唱 チェコ共和国・ベルモニック
 - 合同演奏
 - シンガポール・NUSシンフォニックバンドと富士市高校選抜吹奏楽団
- ★9月8日(大ホール) 入場無料★
 - 14:00~16:30 ガラコンサート(全招待団体参加)
 - セレモニー 合同演奏



今回の青少年国際音楽祭が開催されることは、大変意義のあることだと思います。昨年、県の文化祭(三島で開催)では富士・富士宮地区の合同バンドとして出演しましたが、富士市内の高校六校の吹奏楽部選抜が共演するのは初めてのことです。若い人達にとって、ブラスアルファを期待するのはもちろんですが、音楽を通して楽しむだけでなく、知らない人達と向かい合って打ち解けて行くことで、一つの空気の共有を感じ、マネーも学べる機会などはあまりないと思います。こうした練習で集まること自体、大切な交流会なんだと思います。

吹奏楽では呼吸が合うことで感動がとて大きくなります。マーチに高揚感があるのは人の鼓動と同じ二拍子で、自然に受け入れられるんでしょうね。"人声に勝る楽器なし、"といいますが、合唱はブレスの共有呼吸を合わせることで大切ですが、吹奏楽もほとんどの楽器が息を使ってコントロ

来る九月五日(大ホール)から八日(大ホール)まで、四日間かけて行われる富士青少年国際音楽祭、その準備は着々と進んでいます。日程と行事内容も固まり(別途掲載表参照)、今各国の参加団体と詰めの話し合いを行って行くところです。ホスト側として出演する富士市高校選抜吹奏楽団は、市内六校の高校吹奏楽部から選抜された生徒たちで構成されています。およそ百人になるという団員の皆さんは、六月十六日(日)富士見高校へ集まり顔合わせを兼ねて初の練習を行いました。この楽団の練習から本番まで通して指揮を担当し、さらに指導者としてまとめ役を担って下さるのは、富士見高校石川喬雄先生と富士高校の近藤智雅先生です。本誌ではこの日、会場に密着取材を行い熱気あふれる合奏の音風景を切り取ってきました。

楽団が演奏するプログラムは、初日の五日に行うウエルカムコンサートで四曲、七日の本番に行うコンサートの四曲と合計八曲が予定されています。最初の日は、ホスト楽団として友情、交流、歓迎を謳った曲、海外でも知られた曲を取り上げ、また郷土の富士に因んだ曲を選んであります。七日のプログラムは、吹奏楽の世界的スタンダード曲と日本の郷愁を感じさせる曲を取り上げ選抜吹奏楽団として実力の程を披露することになっています。



富士青少年国際音楽祭への期待感、ピタリと息の合ったフレッシュサウンド。



吹奏楽は呼吸が合うことで感動がとて大きくなります。



※9月6日、7日のチケットについては 一般1000円、学生500円で7月20日発売予定です。

ファンファーレ(作曲者)のメッセージ

この音楽祭の開催を飾る華やかなファンファーレがアメリカ・コロラド大学のアマツ教授により作曲されました。財団にメッセージが届きましたので紹介します。

この儀式用ファンファーレは、1996年の富士市市制30周年記念・富士青少年国際音楽祭のために作曲しました。

このファンファーレの旋律は、どちらかと云うと古典的な儀式用ファンファーレのしきたりに従って、金管楽器と木管楽器と打楽器によって演奏されるように作られています。つまりこの作品は伝統的なファンファーレの特徴を考慮して作曲されていますが、その上におお特徴的なものを持っています。ファンファーレの進行は、力強い行進曲風のものからソフトな舞曲風のものに一変しますが、これらの相反する2つの結合部分は、力と平和の両者を象徴しています。そしてファンファーレは短い雄大な信号に続いて最高潮に達し、コーダ(終結部)にと続きます。

OFER BEN-AMOTS (作曲者) プロフィール
 ベン・アマツ オファー：1986年デトモルトのノルドライン ヴェストファーレン大学音楽学部にて、音楽学士及び修士号を与えられ卒業。93年Ph.D.(哲学博士号)をペンシルヴァニア大学より与えられる。91年に日本の神戸にて開催された「国際フルート作品作曲コンクール」にて最優秀賞を獲得。さらにウィーンにて開催された作曲家の為のウィーン国際コンクール1991にて最優秀賞を獲得。また彼の作品は、ヨーロッパ、イスラエル、カナダ、日本、そしてアメリカ合衆国などで演奏されている。作曲家としての彼の専門分野は幅広く、音楽理論、コンピュータ・ミュージック、ユダヤ及び地中海地方の民謡音楽などにわたっている。現在、コロラド・カレッジ音楽学部教授。

ルするものですからね。県内でもこの地区は、かなり高いレベルにあると思います。今回も出演希望者はとても多く、選ばれた生徒たちはうらやましがらわれています。部員の少ない学校もあり、自分の所では演奏する機会がないとか、大人数でしか味わえないものがあることも感じているんでしょうね。こうして練習に入ると生徒間の交友だけにとどまらない何か生まれてきますので、定期的に行える事があればいいなと思います(今回は五回の合同練習のみ)。少ない練習ですが、合同バンドとして音楽の魅力をかからだで感じ取ってもらい、学校に帰って部活に生かしてくればと思っているんですよ。

(石川喬雄先生・談)

富士市高校選抜吹奏楽団の演奏プログラム

- 9月5日(大ホール)：オープニングセレモニー(歓迎の演奏)
 - 行進曲「富士の山」(富士市・石川喬雄作曲) 指揮・石川喬雄
 - 「海を超える握手」(アメリカ・ジョン・フィリップ・スーザ作曲) 指揮・近藤智雅
 - 「Bands Around the World」(アメリカ・ハロルド・ワルター作曲) 指揮・近藤智雅
 - 「富士サンバ」(富士市出身・林哲司作曲) 指揮・石川喬雄
- 9月7日(大ホール)：吹奏楽と合唱のコンサート
 - 「The Long Gray Line」(アメリカ・ジェームス・バーンス作曲) 指揮・近藤智雅
 - 「アパラチア序曲」(アメリカ・ジェームス・バーンス作曲) 指揮・近藤智雅
 - 「わらべ唄」(富士市文化振興財団芸術委員・川崎優作曲) 指揮・石川喬雄
 - 「ラブソニー」(N響正指揮者・外山雄三作曲) 指揮・石川喬雄

9月が待遠しい“ヤングマン”のみなさん “わたしたち、期待に胸ふくらむ気持ちでいっぱいです”

村松 美香さん(富士東高2年・クラリネット)
 「同じ学校からは15人位かな。去年、東部の文化祭に出てとても良かったので、自分から希望して来ました。他校との交流で新しい友だちができますし、音楽的にもとても成長できると思います。」

鳥居八千代さん(富士高1年・ユーフォonium)
 「中学の時合同バンドに参加しましたし、先輩からもすすめてもらって機会があれば是非やりたいと、自分から希望しました。選ばれてとてもうれしい。楽器の勉強にもなるし、いろんな人たちと出会うのが楽しみです。」

遠藤 勇治さん(吉原工高3年・アルトサクソ)
 「アルトサクソは高校に入ってから始めました。昨年の合同バンドが大きな刺激になり、今回も自分から希望して来ました。部員が少なく、大きな大会に出る機会がないので、とても勉強になります。」



プラハ国立歌劇場の外観。この劇場の舞台そのままがロゼの大ホールに再現されます。

ようこそ オペラの世界へ

THE PRAGUE STATE OPERA

プラハ国立歌劇場

Mozart / モーツァルト

魔笛

Die Zauberflöte
(日本語字幕付)



THE PRAGUE STATE OPERA
IN FUJI

1996・10・26(sat)
開場17:45・開演18:30
ロゼシアター大ホール
S ¥12,000
A ¥10,000
B ¥ 8,000 (学生¥4,000)
チケット発売日:7/28(sun.)

オペラの楽しみ

三枝成彰

オペラの誕生

オペラを私たちは「歌劇」と呼んでいますが、本来は「作品・物」を意味するラテン語のOPUSの複数形がオペラなのです。ですから「歌劇」は日本の造語なんです。巧みに内容を言い表した名詞と言えるでしょう。

オペラは一五九四年、イタリアのフィレンツェで貴族の結婚式の余興として演じられたのが最初です。興味深いことは同時代に日本では歌舞伎、そして中国では京劇が生まれています。歌舞伎はセリフを、京劇は踊りを、オペラは音楽を主体とした劇と言えるとされています。オペラは、ルネッサンス期の人々が、古代ギリシャ時代に歌と踊りと芝居が一体となった形式の演劇があったのではないかと想像し、その再現を試みたことにより生まれました。ですから、以後二百年間オペラはイタリアで発展し、そのストーリーはすべてギリシャ劇をモチーフとしています。

当時のオペラを構成する条件は先ず、ギリシャ古典劇のストーリーをイタリア語で演じること、全編が歌で構成されていること、もう一つは男性だけで演じることでした。そして、この時代に女性役で人気を博したのがカストラート(少年期に去勢を施し、高く美しい声で歌う男性歌手です。しかし、モーツァルトの時代には女性も参加できるようになりました。

西洋人とオペラ
西洋人は、音楽の入門はシンフォニーではなくオペラだと思っているようです。芝居や歌・踊り、美しい衣装や舞

台背景など、音楽の中で一番面白いのはやはりオペラであり、音楽の中で一番重要なポジションを占めていると思っっています。なぜなら、西洋ではオペラを振れない指揮者は指揮者ではないと言われているからです。ドイツでは人口五万人以上の都市に必ずオペラ劇場があって、全く身近な存在として大勢の愛好家がいいます。これはイタリアでも同様です。

さて、日本では戦前日本語で演じた浅草オペラが大ブームとなりましたが、戦後は劇場の敷や資金面での障害、またイタリア語で歌われたこともあって一時衰退しました。しかし、最近では劇場も増え、また日本語字幕がついたり、同様に劇場でも日本語字幕がつくようになって多くのファンを取り返してきていると言えます。

オペラの楽しみ

オペラは総合芸術と言われるように、一つの舞台をつくるにも歌手、指揮者、演出家など様々な人々が関わっています。最近オペラ通の間では、「演出」というものが非常に注目されています。ドイツでは指揮者より演出家の方が位が上だと言われ、イタリアではその逆です。かつては歌手が主導権を握っていましたが、今では指揮者あるいは演出家の方が全体のコンセプトをまとめ易いために上位にあり、オペラ通はその違いを楽しみます。ドイツでは、歌手、指揮者を罷免する権利をもっている演出家さえいます。しかし、このことは国によって、時代によって変わってくる

ロゼシアターがオペラ劇場に…。前号でもお知らせしましたように、待望の本格オペラがいよいよこの秋ロゼに登場します。いつも音楽があふれ、こよなくモーツァルトを愛する街プラハから、国立歌劇場が彼のメッセージを運んで来ます。
居ながらにして味わえるオペラの醍醐味。今回はオペラの世界への案内役に作曲家の三枝成彰さんをお願いし、オペラの楽しみについてお話しいただきました。

世界中でも愛されているオペラ「魔笛」

モーツァルト最晩年のオペラである「魔笛」は、そのファンタスティックな物語と数々の名曲に縁取られ、世界中でも最も人気の高いオペラとして広く知られています。

物語は、旅の王子タミーノが鳥刺しのババゲーノを従え、夜の女王の娘愛するパミーナを救い出すため、ザラストロの館に赴きます。二人はそこで、魔法の笛と鐘の力を借りながら数々の試練を乗り越え、タミーノはパミーナとまた、従者ババゲーノはババゲーナとめぐり会い結ばれるというお話で、全編によく知られた曲が流れます。

モーツァルトを知り尽くしたプラハ国立歌劇場

一八八七年に創設されたこの歌劇場は、プラハ在住のドイツ系市民によって建てられ、ドイツ・イタリアオペラなどの原語上演を得意としています。加えて、プラハはモーツァルトと最も絆の深い街彼を知り尽くしたプラハ国立歌劇場がどんな舞台を見せてくれるのか、今から興味が尽きません。



地底から無事脱出し、ババゲーナに再会。愛を誓うババゲーノ(楽しい「愛の二重唱」)

言えるでしょう。

オペラの楽しみの一つは、劇の途中で拍手が入ること。いいアリアだなあ、素晴らしいなあと感じたら拍手を贈って構いません。拍手の仕方も国によって国民性によって大きく違います。例えばアメリカのメトロポリタン歌劇場では幕が上がりにそこに現れた舞台装置の素晴らしいことに感動して拍手が起こることさえあります。ところが、ドイツで同じことをしたら即座に外へ追い出されます。そんなことから、初めての方はどうぞ周りの方について拍手をして下さい。

「魔笛」の見どころ、聴きどころ

さて、皆さんがご覧になる「魔笛」ですが、正確にはこれをオペラと言っはいけないのです。オペラは全編が歌でつながっていて、そして当時はイタリア語でなければならなかったのに、この作品はドイツ語(彼のオペラの大抵はイタリア語で書かれています)で書かれ、歌とセリフが交互につながっている音楽劇なので、厳密にはジグシュピール(ドイツ田舎芝居と訳します)と言うべきでしょう。

主人公のタミーノという王子ですが、この王子が日本の狩衣(かりぎぬ)を着て登場するようにと総譜(スコア)に書かれています。なぜモーツァルトが狩衣を知っていたのでしょうか。これは少し時代を遡りますが、西洋で



さえくさ しげあき 1942年東京生まれ。東京芸術大学大学院修了。現在東京音楽大学客員教授。代表作として、オラトリオ「ヤマトタケル」オペラ「千の記憶の物語」等がある。映画で「優駿-オラシオン」「お引越し」等、テレビではNHK大河ドラマ「太平記」「花の乱」等の音楽を担当。現在、来年5月初演予定のオペラ「忠臣蔵」の作曲中である。

記念事業に向い、市民の歌声が熱い！

晴れやかに富士への賛歌を

十一月一日に行う、市民合唱の夕べ「見よ西風からの富士」は、富士市民による合唱をバックにしたピアノ協奏曲です。財団の公募に応じ市民一人ひとりが、一緒に歌うことの楽しさを満喫しようと一月からロゼシアターで月二回、およそ一五〇人の方々が東京混声合唱団の理事で合唱指導のブロ、中脇幹夫氏の指導で、難曲といわれる「見よ西風」と取り組んでいます。

作曲者の三枝成彰さんはこの曲に対し「すでに、札幌と大分でヴァイオリン協奏曲、チェロ協奏曲を作曲しており、日本の真ん中の富士市ではピアノ協奏曲を作った」と語っています。テーマは富士山の創造と未来、第一楽章は、噴火の様子から山が形成されていく過程。第二楽章は落ち着き輝く富士山の姿、第三楽章は日本の象徴として世界の人々から愛される富士山。フィナーレは聴衆それぞれの発想で富士山の未来を自由に想像していただくという構成になっています。ピアノ協奏曲としては珍しくコーラスが入るのが特徴で、題名の由来は西風が吹く時は空が晴れたり、富士山が美しく見えることから付けられています。

今回約十か月の練習期間の中で、中脇先生を中心に、ピアノ伴奏を馬飼野さん、合唱指導者に伊藤さんの応援をお願いしています。本誌では、リハーサル室で練習に励む皆さんを訪ね、お話しをお聞きしました。



中脇先生、練習の進捗状況はいかがですか？

皆さん一般の方ですから、時間を作ることも大変にもかかわらずよくやってくれています。まだまだやることは沢山という感じがしますが、月二回のペースですと集中的にならざるを得ませんし、一方的に引つ張る感じになってしまいます。でも今の雰囲気ですと反応もとても良くて、一気に伸びてくれる時期も近いと思いますね。

ピアノ協奏曲の中のコーラス、難曲のようですね？

メロデーもリズムも跳躍が大きい曲で、とても難しいと思います。特に高音をいかに響かせるかが今後の楽しみです。現時点では表情が少しずつ出て来ているので、あとはコ



中脇さんと馬飼野さん(左)

ントロールと全員の気持ちをはかにか合わせるかが問題です。練習中の皆さんの手応えは？

他の曲を演る時のプラスになるかどうかは断言できませんが、経験を積み重ねるほど上手になりますね。何より私の言うことを理解しようとする前向きな姿勢と、明るさがとても良くて、時間の経つのも忘れません。

馬飼野さん、ピアノ伴奏の苦勞などはいかがですか？

中脇先生ともすく馴れましたし、知っている方が多いので、いらぬ緊張感がないので楽です。コーラスはレッスンの間が大切ですから、指揮者と一緒に息をする感じが頑張っています。



「全体の音取りが終り、次は表現法と暗譜の練習に入ります」(右側伊藤さん)
「オペラ・アリアのために、原語の猛特訓中、曲は親しみがあり楽しい」(荻谷さん)

中脇先生、最後に当日への抱負を本番ではあらばかり見えています。練習の方が楽しいですよ。(笑)コーラスに限らず演奏の基本は、いかに聴衆に呼びかけるかです。特に人間の声によるコーラスですから、直接訴えかけることができず。このことを念頭に置いて頑張つて欲しいですね。

どうもありがとうございます。

市民合唱の夕べ 「見よ西風からの富士」

1996年11月1日(金) 大ホール
開場18:15・開演19:00

●PROGRAM●

「RETICULATION」

(第15回入野賞受賞曲)

合唱付ピアノ協奏曲「見よ西風からの富士」

【オペラ・アリア集】

乾杯の歌

(ヴェルディ「椿姫」から)

幕明きの合唱

(マスカーニ「カヴァレリア・ルスティカーナ」から)

ジプシーの合唱とカンツォーネ

(ヴェルディ「トルヴァートレ」から)

凱旋の合唱

(ヴェルディ「アイダ」から)

●指揮/堤俊作 ●ピアノ/佐々木麗

●管弦楽/静岡交響楽団

●合唱/富士市民による合唱団



堤 俊作 (指揮)

SHUNSAKU TSUTSUMI ●PROFILE

1970年桐朋学園大学を首席で卒業。故斎藤秀雄氏に指揮を学ぶ。1978年「第1回アンセルメ指揮者コンクール」優勝。1971年東京交響楽団副指揮者に就任。翌年同楽団演奏会で正式デビュー。77年まで同楽団正指揮者を務めた。75年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を創立し、92年まで常任指揮者を務めた。また、ロンドン交響楽団やスイスロマント管弦楽団等へも客演。ハレ工公演においては、松山ハレ工団の海外公演などに参加、第一人者として国際的な名声を得ている。



佐々木 麗 (ピアノ)

URARA SASAKI ●PROFILE

札幌市出身。幼少より母にピアノの手伝いを受ける。10歳の時音楽家の両親と共にイタリアに渡る。12歳でヴェネツィアでデビュー。90年以降ヨーロッパ各地で行われたピアノコンクールで連続して第1位入賞を果たす。95年6月ウィーン国立音楽大学を首席で卒業。8月に札幌交響楽団との共演により日本デビューを飾る。



静岡交響楽団 ●PROFILE

1988年11月に「静岡室内管弦楽団カペラ・シズオカ」として誕生した専門家によるオーケストラが前身となり、演奏活動を続けてきた。94年4月、中央から著名な指揮者堤俊作氏を音楽監督に迎え、楽団名も「静岡交響楽団」と改め飛躍の業地を固めた。現在音楽界のリーダーの役割を担って活動している。



大村久美子 (作曲家) KUMIKO OHMURA ●PROFILE

1970年 富士市鷹岡生まれ。ピアノを杉山美弥子氏、白井美子氏、作曲を松橋正子氏に師事。
'84年 静岡県学生音楽コンクール・ピアノ部門中学生の部第二位。
県立富士高等学校在学中より作曲家を志し、川崎給都夫氏、國越健司氏に師事。
'89年 東京芸術大学作曲科入学。浦田健次郎氏、丸田昭三氏、松下功氏、近藤謙氏に師事。
'93年 秋吉台国際20世紀音楽フェスで、作品演奏。
'94年 同大学を卒業。名古屋文化振興賞佳作入選。第15回入野賞受賞。
受賞作は、'95年第228回新日本フィル定期演奏会で初演。
'95年よりドイツのフォルクワング芸大で作曲をニコラウス・A・フーバー氏に師事。
デンマーク「Musiana '95」で委嘱作品初演。同作品は、ドイツ「Nachwuchsforum」に入選し
'96年1月に、フランクフルトでアンサンブル・モデルンによって演奏される。
本年3月には、茨城県立水戸第二高校の委嘱作品初演。

SPECIAL INTERVIEW

芸術は生命の深い意識と密接な関係があるのでは…

この日、大ホールのステージでは、前号で紹介した大村久美子さん(富士市出身・作曲家)の作曲による「RETICULATION」が演奏されます。この曲は、一九九四年世界から公募された作曲コンクールで受賞(第十五回入野賞)したオーケストラ作品で、音楽界で評判となった曲です。本誌では、現在ドイツへ留学して勉強中の大村さんに特別インタビューをお願いし、音楽に対する熱い思いを語っていただきました。

まず「RETICULATION」の意味、曲の解説などをお願いします。

この作品は、一九九三年十月から翌年の二月にかけて芸大の卒業作品として作曲したものです。「RETICULATION」とは、網細工・

網状組織の意味であり、音色の異なる数々の線が網目のように入り組んだ響きから成り立っていることからこの題名を付けました。古典音楽のように明確なメロデー

というものはなく、一つの音型の反復、あるいは、その変型により音楽が推移していきます。また、その線の堆積によりハーモニーが生まれ、内部の音型の変化が全体のハーモニーを変化させます。ぜひ聴いてみて下さい。

この曲は、現代音楽のようにみえますが、クラシック音楽と呼んではいいのでしょうか？

そうですね。西洋クラシック音楽の延長線上にある現代音楽と言えるでしょう。でもクラシック音楽の教育を受けてきたとはいえ、私が日本人である以上、純粋な意味ではそのような言い方はできないかもしれません。

一般の若者が好むロック、ニューミュージックなどは好きですか？

音楽と称するものは、とりあえず

と密接な関係があるように思えます。私たちがファッションに興味をもつのも一つの自己表現という点では、その延長線上にあるといえるのではないのでしょうか。いずれにしても芸術行為というのは、動物にはない人類だけに与えられた特権だということを私たちは認識すべきだと思います。

好きな作曲家、尊敬する作曲家はいますか？

尊敬する日本人作曲家としては、今年二月に亡くなった武満徹氏。刺激を受けるという意味では、もう少し若い世代の近藤謙氏(芸大で師事)、細川俊夫氏(受講セミナーの講師)などの方です。外国人作曲家は中世から現代まで数多くいます。

今後の活動方針を差し支えない範囲でお聞かせ下さい。

そうですね。今ドイツで勉強中ですので、とりあえず卒業するまでこのまま頑張るつもりです。でもその間機会があれば、これまで通り、日本とドイツを往復する生活も考えられます。

作曲家になろうとしたきっかけは？

またドイツでのフリータイムは何

をしていますが？

私は五〜六歳の頃から、音楽教室で作曲を習っていました。それで高校二年の時、その作曲を一生の仕事にしようと思え立ち、芸大受験を決意したんです。小さい頃から曲を作ったり、ピアノを習ったりしていたので、ピアノをただ漫然と弾くのではなく、こういう作りになっているから、こう弾くんだと自然と考えるようになっていたんですね。物心がつくようになり、曲作りにより興味を持つようになったのでこの道を選んだんです。

ドイツに来てから、知らない景色を楽しみながら歩らぶら歩くことが好きになりました。曲の構想を練りながら歩いていると三十分位すぐにはたつてしまいます。でも気がついたら迷子になっていました。なんてことはないですよ。

十一月一日のコンサートにはロゼに来て下さいませ。何かメッセージを一言。

この曲は十分に満たない小品ですが、現代のオーケストラの響きをお楽しみ下さい。

ありがとうございます。



デンマークの現代音楽祭(1995)「Musiana '95」にて
作曲家・関係者らと、中央が大村さん

ずどんなジャンルにも興味があります。特に高校時代には、友達とポピュラー音楽のコンサートに行ったり、ロック、ニューミュージックも聴きました。日本では友達とカラオケに行くこともあります。ただ残念ながら演歌はあまり好きではありません。

地方でのクラシック音楽の活性化についてご意見を聞かせて下さい。

この問題はとても難しいテーマだと思います。日本は、戦後経済的にまたテクノロジにおいて急激な発展を遂げましたね。一方、それらに比べると芸術というものが発展、あるいは成熟するのには多くの時間がかかります。ましてや、日本にはクラシック音楽の伝

統がありませんから…。それを急にしかも地方で根づかせようというのは大変なことです。ですから、目先の成果だけを追い求めるのではなく、長い目で見て文化を育てていこうとする姿勢が大事だと思います。私が小・中学校に在学中、二度プロの演奏家を学校に招いて演奏会がありました。とてもよい経験でした。一度のよい生演奏を聴いたことのある人なら、きつとうなづくことでしょう。音楽に興味のない生徒にとって、ただのレコード鑑賞は退屈極まりないものですが、実際目の前で演奏しているのを見れば、多少の興味はわいてくるものです。その時の経験がもししたら、将来演奏会へ足を運ぶきっかけになるかもしれません。時には、地元の音楽家の協力を得て、生徒に生の演奏を聴かせるの必要だと思っています。東京のような大都会にない密接な人間関係が存在する地方では、それは不可能なことではないと思います。

芸術は一見、日常生活とは関わらないように見えますが、人間の生命の深い意識の中で、その精神



今シーズン、ケルン歌劇場で上演中のA・ホモキ演出による「魔笛」第一幕第三場 黒人モノスタートス（J・ブライシンガー）と奴隷一団に追われるパミーナ（N・シュテメ）

オペラは音楽により人間的内容を持つストーリーの感情表現を直接体験する伝統芸術である。作品

最近ますます芸術に関心が高まって来ます。芸術は公共財産であるという意見や、芸術の発信と受信は人々の生活に感動と創造的な刺激をもたらすし、自然環境や歴史・伝統と並んで都市の魅力をつくる重要な資産ともいわれています。私達は芸術が身近にあるものと理解しながらもとく傍観者が芸術高揚の契機として、もつとも行政・企業・市民の連繋により再認識と努力を積み重ねなければならぬと考えます。



ケルンのオペラファン、レ・シュヴァーテ夫人と、1930年1月1日彼女が6才の時にはじめて見たというオペラ「メンゼルとクレアデル」及び1934年5月7日の「魔笛」のプログラム。

マンダリン製作・演奏家
内藤 閑喜
Yasuyoshi Naitch ● PROFILE
富子市出身、現在ドイツ・ケルン市在住
海外のさまざまな文化情報を新しい切り口で取材し、レポートを送っていただいています。

心をとぎめかした花の季節が終つて、新緑が落ち着いた雰囲気。夏が近いのか早朝だが太陽の光が瞳にまぶしい、文化会館の階上に立つと、真北にそびえる富士山が群青の空間に浮き出て、その豊麗な姿を見せている。眺めているうちに、「八面玲瓏」という言葉は富士山から生まれたことを思い出す。富士山は世界一の山であり世界中の老若男女が生誕に一度は訪れてみたいと、あこがれている山であることが当然のように思えてくる。

文化会館の周辺に眺めを転じると前方に中央公園、並んで富士山麓から流れる潤井川には「源平橋」その下流に「潤井川大橋」が架かり文化会館と一体となりすばらしい公共空間をしつらえています。これらの計画はいづれも昭和五十年代で地方の時代づくりが台頭し文化行政、都市アメニティー（環境の快適性、魅力ある環境）が提唱された時期でありました。中央公園は市民参画の公園として懇談会方式によりいろいろの意見を集約し、街に緑と憩いの場所としていつでも行きたい親しみのある公園づくりがすすめられ、平成三年に開園しました。四季を通じて文化的催事やイベントに大勢の方々に利用され喜ばれています。潤井川大橋は街の中心に位置する橋として歩行者が楽しんで眺望できるものを念頭に計画され、全国的にも数少ないアーチの美しさを強調

した単弦ローゼ橋に四体の裸婦像が周囲に調和して瞬時の憩いを与えてくれます。源平橋は「豆家物語」源平富士川合戦に因み、兜に驚いて葦の中から飛び立つ水鳥をイメージしてつくられています。願ひますと当時の市民の新都建設願望に添えて物心両面の福祉の充実と文化の香づけをめざし、学校・保育園等が変貌し、その周辺への好影響もあり都市形態も大きく変化。特に昭和六十三年の新幹線新富士駅開業は産業・文化・経済等、各界の交流の容易さをもたらしました。こうした時代の変貌期にあつて住民が語り合う安らぎと憩いのある都市づくりが進められる中で、文化・芸術の育成も図られたのでした。

新しい文化会館は昭和五十六年に市民懇話会の「市民文化のすすめ」の提言を基に時代の要請と市民ニーズにこたえるため吉原市民会館と富士文化センターに代わる新しい文化的施設として建設が進められ平成五年に完成しました。ローゼシアターの愛称で親しまれる文化会館も早や三年を迎えようとしています。コンサート（音楽）シアター（演劇）ギャラリー（美術展示）と、それぞれ専門性をもつた二十一世紀に向けて芸術の華ひらく拠点として施設整備が図られてきました。いろいろと好評いただいている中で、まずはホールの最大の使命である音響に全くとくを注いでいただいていることはまことに良かったと思えます。

（※）歌劇場は劇場総監督（ケルンは現在G・クレーマー）音楽総監督（向井・コンロン）と劇場長（向井・フクレ）をトップに置いている。

ケルンのオペラ史は十七世紀半ばに遡る。一八二二年以来常設劇場を有す。指揮者クレンペラー、演出家フェルゼンシュタインなどの名匠を抱えた。ヴァントによる現代作品、ツィマーマン作曲「兵士達」の世界初演、ケルテス（音楽総監督）とポネリ（演出）のモーツァルトオペラで定評を得、世界の注目を集めるようになる。（※）

輝かしい歴史を誇るケルン歌劇場
現在ドイツには二百五十の歌劇場がある。オペラだけ上演する劇場が五十、オペラ・演劇・バレエ等上演する多目的劇場が二百ある。七つが州立で、あとは市立である。ケルン歌劇場は市立の多目的劇場に属する。

歌劇場は火の車
どの歌劇場も今財政危機に直面している。ケルン市はここ数年間援助削減をしてきた。一人平均入場料約四千二百円に対し、市から一万四千円の援助がある。出演者に年平均七億円、ゲストに十四億円かかる。オペラの年間上演回数は百七十回だが、年間演目数は僅か十二で、このうち新しい演目は五つである。十年前迄は年間四十あった。才能はあるが歌のノウハウを持たぬ若手の起用も多くレベル低下が起こる。客は減少しイメーシダウンする。オペラは市の顔であり、市にとってマイナスとの判断から援助を元に戻すことになったという。

一番人気のあるオペラはメルヒェン舞台空間の破天荒な「魔笛」
オペラの内容は「くだらない」ものが多い。台本に音楽上の見せ場（アリア）が不可欠、構成的でない、難しくないなどの制約があること、聴衆に好まれるものであることによる。例えば「魔笛」は、台本を書いたシカネーダが劇場不振打開策で大受けする作品依頼を

最近ますます芸術に関心が高まって来ます。芸術は公共財産であるという意見や、芸術の発信と受信は人々の生活に感動と創造的な刺激をもたらすし、自然環境や歴史・伝統と並んで都市の魅力をつくる重要な資産ともいわれています。私達は芸術が身近にあるものと理解しながらもとく傍観者が芸術高揚の契機として、もつとも行政・企業・市民の連繋により再認識と努力を積み重ねなければならぬと考えます。

（※）歌劇場は劇場総監督（ケルンは現在G・クレーマー）音楽総監督（向井・コンロン）と劇場長（向井・フクレ）をトップに置いている。

ケルンのオペラ史は十七世紀半ばに遡る。一八二二年以来常設劇場を有す。指揮者クレンペラー、演出家フェルゼンシュタインなどの名匠を抱えた。ヴァントによる現代作品、ツィマーマン作曲「兵士達」の世界初演、ケルテス（音楽総監督）とポネリ（演出）のモーツァルトオペラで定評を得、世界の注目を集めるようになる。（※）

ケルン・オペラ事情

内藤 閑喜



モーツァルトにしてきた。そのため内容は明と暗、善と悪のコントラストに神秘と道徳、崇高と素朴、厳粛と滑稽、聖と俗が雑然と混ざりメルヒェンの空間で秘密結社フリーメイソン入会を目指す者を象徴した博愛思想を謳っている。今日の混沌とした社会から新興宗教等に逃避する人々の姿を重ねて、バゲーノの鐘やタミーノの笛を警鐘として聴くのも時宜を得た鑑賞法の一つかもしれない。

（※）歌劇場は劇場総監督（ケルンは現在G・クレーマー）音楽総監督（向井・コンロン）と劇場長（向井・フクレ）をトップに置いている。

ケルンのオペラ史は十七世紀半ばに遡る。一八二二年以来常設劇場を有す。指揮者クレンペラー、演出家フェルゼンシュタインなどの名匠を抱えた。ヴァントによる現代作品、ツィマーマン作曲「兵士達」の世界初演、ケルテス（音楽総監督）とポネリ（演出）のモーツァルトオペラで定評を得、世界の注目を集めるようになる。（※）

平成七年七月より（財）富士市文化振興財団の芸術委員になられた前富士市助役矢部良雄氏にロゼシアター周辺の環境都市づくりについてエッセイをお願いしました。

文化会館の周辺に眺めを転じると前方に中央公園、並んで富士山麓から流れる潤井川には「源平橋」その下流に「潤井川大橋」が架かり文化会館と一体となりすばらしい公共空間をしつらえています。これらの計画はいづれも昭和五十年代で地方の時代づくりが台頭し文化行政、都市アメニティー（環境の快適性、魅力ある環境）が提唱された時期でありました。中央公園は市民参画の公園として懇談会方式によりいろいろの意見を集約し、街に緑と憩いの場所としていつでも行きたい親しみのある公園づくりがすすめられ、平成三年に開園しました。四季を通じて文化的催事やイベントに大勢の方々に利用され喜ばれています。潤井川大橋は街の中心に位置する橋として歩行者が楽しんで眺望できるものを念頭に計画され、全国的にも数少ないアーチの美しさを強調

した単弦ローゼ橋に四体の裸婦像が周囲に調和して瞬時の憩いを与えてくれます。源平橋は「豆家物語」源平富士川合戦に因み、兜に驚いて葦の中から飛び立つ水鳥をイメージしてつくられています。願ひますと当時の市民の新都建設願望に添えて物心両面の福祉の充実と文化の香づけをめざし、学校・保育園等が変貌し、その周辺への好影響もあり都市形態も大きく変化。特に昭和六十三年の新幹線新富士駅開業は産業・文化・経済等、各界の交流の容易さをもたらしました。こうした時代の変貌期にあつて住民が語り合う安らぎと憩いのある都市づくりが進められる中で、文化・芸術の育成も図られたのでした。

新しい文化会館は昭和五十六年に市民懇話会の「市民文化のすすめ」の提言を基に時代の要請と市民ニーズにこたえるため吉原市民会館と富士文化センターに代わる新しい文化的施設として建設が進められ平成五年に完成しました。ローゼシアターの愛称で親しまれる文化会館も早や三年を迎えようとしています。コンサート（音楽）シアター（演劇）ギャラリー（美術展示）と、それぞれ専門性をもつた二十一世紀に向けて芸術の華ひらく拠点として施設整備が図られてきました。いろいろと好評いただいている中で、まずはホールの最大の使命である音響に全くとくを注いでいただいていることはまことに良かったと思えます。

（※）歌劇場は劇場総監督（ケルンは現在G・クレーマー）音楽総監督（向井・コンロン）と劇場長（向井・フクレ）をトップに置いている。

最近ますます芸術に関心が高まって来ます。芸術は公共財産であるという意見や、芸術の発信と受信は人々の生活に感動と創造的な刺激をもたらすし、自然環境や歴史・伝統と並んで都市の魅力をつくる重要な資産ともいわれています。私達は芸術が身近にあるものと理解しながらもとく傍観者が芸術高揚の契機として、もつとも行政・企業・市民の連繋により再認識と努力を積み重ねなければならぬと考えます。

ロゼの周辺



最近ますます芸術に関心が高まって来ます。芸術は公共財産であるという意見や、芸術の発信と受信は人々の生活に感動と創造的な刺激をもたらすし、自然環境や歴史・伝統と並んで都市の魅力をつくる重要な資産ともいわれています。私達は芸術が身近にあるものと理解しながらもとく傍観者が芸術高揚の契機として、もつとも行政・企業・市民の連繋により再認識と努力を積み重ねなければならぬと考えます。

最近ますます芸術に関心が高まって来ます。芸術は公共財産であるという意見や、芸術の発信と受信は人々の生活に感動と創造的な刺激をもたらすし、自然環境や歴史・伝統と並んで都市の魅力をつくる重要な資産ともいわれています。私達は芸術が身近にあるものと理解しながらもとく傍観者が芸術高揚の契機として、もつとも行政・企業・市民の連繋により再認識と努力を積み重ねなければならぬと考えます。

（※）歌劇場は劇場総監督（ケルンは現在G・クレーマー）音楽総監督（向井・コンロン）と劇場長（向井・フクレ）をトップに置いている。

最近ますます芸術に関心が高まって来ます。芸術は公共財産であるという意見や、芸術の発信と受信は人々の生活に感動と創造的な刺激をもたらすし、自然環境や歴史・伝統と並んで都市の魅力をつくる重要な資産ともいわれています。私達は芸術が身近にあるものと理解しながらもとく傍観者が芸術高揚の契機として、もつとも行政・企業・市民の連繋により再認識と努力を積み重ねなければならぬと考えます。

財富士市文化振興財団
芸術委員
矢部良雄
Yoshio Yabe



財団自主事業をはじめ、一般貸館事業を含めた8月～10月のイベントスケジュールです。これを参考に、あなただけのスペシャルプログラムを作ってください。

1996 8 AUGUST

日	曜日	ホール	イベント
1	木	中	★ロゼ寄席
		大	富士市青少年会議
		中	平成8年度富士市建設業者研修会
2	金	小	ロゼイヴニングコンサート第2夜 ～音楽の都をたずねて～
3	土	小	音楽発表会 リトルコンサート
		中	全済済富士地区共済会加入者のつどい
4	日	小	松浦啓恵ピアノ・エレクトーンコンサート
6	火	小	水道事業記念イベント
10	土	小	ピアノ発表会 (渡辺康代)
11	日	大	★2代目水谷八重子襲名披露 松竹新派特別公演
		小	斎藤てるみ・加藤喜美子ピアノ・ エレクトーン発表会
12	月	大	富士市公立学校教職員表彰式
		小	富士市国民年金委員研修会
15	水	中	平成8年度富士市戦没者追悼式
23	金	中	親子まんが映画会
24	土	中	高校入試説明会
		小	仲澤裕恵門下生ピアノ演奏会
25	日	大	★藤山寛美7回忌追善公演(藤山直美出演)
		小	ピアノ発表会 (坂口和子)
26	月	小	第4回藤の会演奏会 合唱の夕べ
30	金	小	平和のつどい
31	土	小	★長谷川寛・佐野糸代琴ジョイントリサイタル

■はロゼシアター主催事業
☆印は、ロゼ・チケットセンター窓口でもチケットを取扱う予定のものです。

1996 9 SEPTEMBER

日	曜日	ホール	イベント
1	日	小	ピアノ発表会 (飯山輝代)
3	火	大	平成8年度交通安全県民大会
5	木	大	富士青少年国際音楽祭
6	金	大	富士青少年国際音楽祭
7	土	大	富士青少年国際音楽祭
8	日	大	富士青少年国際音楽祭
12	木	大	鼓童
13	金	小	富士中・中央小・富士第一小合同教育講演会
14	土	大	★歌劇「椿姫」
		小	Jetアンサンブルコンサート
15	日	小	ピアノ・エレクトーン発表会 (米山直子)
16	月	小	ピアノ発表会 (山崎和与)
18	水	中	しずぎんユフォニア・コンサート
		小	沼津学園高等学校地区父母懇談会
19	木	大	平成8年度富士市市民大学開講式
		小	富士青年会議所9月例会
20	金	大	静岡県健康づくり食生活推進員のつどい
		中	劇団花組芝居「雪之丞変化」
21	土	中	富士フェスティバルプラス演奏会
		小	八十の会サロンコンサート
22	日	大	★ミュージカル 怪盗 세인트テール
		中	全日本歌謡連盟カラオケ大会
		小	藤の会おさらい会
23	月	小	声楽・コーラス発表会
26	木	大	富士市市民大学
		小	平成8年度市展表彰式
28	土	大	前進座「花咲ける武士道」
		小	バイオリン・ピオラ・チェロ合同演奏会
29	日	中	岳心流吟詠会富士岳心会創立記念大会
		小	三曲 (尺八、箏) 演奏会

1996 10 OCTOBER

日	曜日	ホール	イベント
3	木	大	富士市民大学
		中	富士市勤労者芸術祭
4	金	小	富士市日友好協会 創立3周年記念コンサート
6	日	大	中学校音楽発表会
		中	青少年の船事後研修
		小	ひろ歌謡教室発表会
11	金	小	カルミナ・カルテット
12	土	大	しずおか文化の祭典
		中	しずおか文化の祭典
13	日	小	ピアノ発表会 (磯野典子・小永井ひとみ)
17	木	小	富士市市民大学
18	金	小	富士市総合文化祭
19	土	中	静岡県幼稚園・保育所放送教育研究会
20	日	中	富士市総合文化祭
23	水	大	芸術鑑賞会 (吉原高等学校)
		小	第26回ロゼ寄席
24	木	大	富士市市民大学
25	金	中	モルモーネ&クリロフのデュオコンサート
		大	プラハ国立歌劇場 オペラ「魔笛」
26	土	小	杉山美彌子・木村節子 ピアノデュオリサイタル
27	日	中	弦哲也歌謡大会
		小	ピアノ・ドラマトーン発表会
29	火	小	山静教区教化研究会

▼イベント見どころガイド▼



鼓童 KODŌ ONE EARTH TOUR

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見出し、常に新しい音の創造を試みる集団、「鼓童」。繊細な表現力と力強いステージをお楽しみに!!

1996.9.12(木) 大ホール
開場18:30 入場料/一般: 4,000円
開演19:00 学生: 2,000円 (全席指定)



大勢の皆様から好評をいただいている「楽器の浪漫シリーズ」、その第二弾「フルートの浪漫」が展示室で六月八日から十六日まで開催されました。

このシリーズはひとつの楽器にスポットをあてその楽器に秘められたロマンを探り、楽器のもつ魅力を徹底的に引き出すという企画です。

今回も「フルートの製造工程と歴史のパネル展示」「楽器展示と試奏」「フルートなんでも相談室」など多彩な内容でお客様には充分楽しんでいただくことができました。

特に、読売日本交響楽団フルート奏者・齋藤賀雄さん(本企画の監修者)とギタリスト関谷静司さんによるスペシャルコンサートは用意した椅子が足りなくなるくらい盛況で好評でした。

後半の目玉は鳴上亜希子さんによるトーク入りのリラククスしたフルートコンサートです。お子様連れのお母さんも大勢訪れ親子と

どももフルートの魅力を堪能していただきました。

会場では、フルートを直接手に取って試奏も自由にでき、お客様には気軽な展示会という印象をもたれたようです。

また、期間中を通して行われたトワイライトコンサートでは、市内外のフルート愛好者の皆さんがすばらしい演奏を披露。この中には、ロゼシアターが毎年行っている「MAYコンサート」の出身者もあり、その成長ぶりもうかがうことができました。

この九日間はまさにフルート一色に包まれ、さわやかで優雅な展示会となりました。



フルートの浪漫
展示とミュージアムコンサート

1996.6.8(土) ~6.16(日)



トキメキ WAKU WAKU 通り

チケットプレゼントの TICKET PRESENT

お知らせ

ロゼシアターでは、富士市新市施行30周年とロゼOPEN3周年を記念し、自主公演のチケットをプレゼントします。どの公演もとおきの見逃せないイベントばかり!

この機会にお目当てのチケットを手に入れてみませんか!

- 6公演に600名様をご招待
- 富士青少年国際音楽祭
9/6(金) ペア30組(60名)
7(土) ペア30組(60名)
- プラハ国立歌劇場オペラ「魔笛」
10/26(土) 30名
- 合唱付
ピアノ協奏曲「見よ西風からの富士」
11/1(金) 300名
- カラベリ・グランドオーケストラ
11/16(土) ペア30組(60名)
- こまつ座公演「雨」
12/13(金) ペア30組(60名)
- キーロフバレエ「眠れる森の美女」
12/19(木) 30名

《応募方法》
ハガキに住所・氏名・年齢・職業・性別・電話番号と6公演のなかから希望する公演を1つ明記し、8月5日(土)までにご応募ください。(当日消印有効)

住所	氏名	年齢	職業	性別	電話番号	希望公演名
〒416-0000	ロゼシアター					

富士市豊原1-307-8
ロゼシアター
チケットプレゼント係行

※応募者多数の場合は抽選とします。
お問い合わせ
ロゼ・チケットセンター ☎60-2500

展示室のご案内

展示期間	展示室	催事	展示期間	展示室	催事
8/1~4	一般・特別	平成8年度富士市展 (絵画・工芸・彫塑)	9/14~23	一般・特別	ふじの芸術家たち
8/8~14	一般	アオキ・カラーフォトクラブ会員による写真展	9/27~29	一般・特別	第36回静岡県芸術祭華道展
8/21~25	一般・特別	世界児童画展	10/1~6	一般・特別	富士市総合文化祭 (日本画・硬筆・写真)
8/27~31	一般	'96 平和のための富士戦争展	10/8~13	一般・特別	しずおか文化の祭典
9/7~9	一般・特別	科学作品展	10/17~20	一般・特別	第26回富士市福祉展
9/7・8	一般	第31回富士市発明くふう展	10/22~27	一般・特別	富士市総合文化祭 (洋画・陶芸・毛筆・華道)
9/10~12	特別	和装飾り	10/28~31	一般・特別	友好都市展示

※一般貸館事業については、平成8年6月中旬までの受付分です。各ホールでのイベントや展示などの日程は変更になる場合があります。また、主催者の都合により一部記載されない催し物もあります。ご了承ください。

ROSE 掲示板

作曲家・三枝成彰氏のサイン入りオペラ脚本「三枝成彰のオペラの楽しみ方」を5名様にごプレゼントします。ご希望の方は、ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号とオペラ脚本希望と記入の上8月31日までにご応募ください。(応募者多数の場合は抽選とします)

★お問い合わせ・あて先★
〒416 富士市豊原1307-8
ロゼシアター事業課広報係
☎0545-60-2513

編集後記

夏に強いロゼ、そんな感じを抱かせる編集だった。それは本誌の大部分を占める取材記事でもお分りと思う。▼これから九月、十月、十一月にかけて開演が待たれるイベントばかり、リハールの現場は熱気にあふれて、当日の喝采が目につく。▼今月初めに上演するオペラ、三枝さんと内藤さんに貴重なお話を聞かせていただき、より一層楽しみがわいてきた。▼トイに留まらず、大村さんの体験談は、これから音楽を志す若者の励みになったはず。▼ともあれ多くの方々の協力で今号も無事脱稿、盛夏に向かっただけに自愛の程を。(一)

ロゼネット

ウラティール・ウーレック氏の「未完成」「運命」「新世界より」の三大交響曲を、一挙に演奏したプラハ放送交響楽団。大ホールはあふれんばかりのお客様。素晴らしい演奏の最中、取材していた私は、カメラのファインダー越しに指揮者、ウーレック氏の背中をずっと見つめていました。ガツガツして動く指揮者を振るたびに、しなやかに動く肩。いい写真が撮れたのは、ウーレック氏の指揮に促されてシャッターを切ったおかげかもしれません。(K)

●ロゼシアター友の会●

「ロゼ・メンバーズクラブ」 会員更新と入会のお知らせ



昨年九月一日より発足しましたロゼシアター友の会「ロゼ・メンバーズクラブ」の更新の時期が近づいてきました。毎年九月一日より翌年八月三十一日までが会員有効期限となりますので、継続を希望される方は更新手続きが必要となります。(年会費 二,000円)

また、会員の更新と同時に新規入会の受け付けも行います。このチャンスにぜひどうぞ。

★ロゼイベントニュース(年六回)・文化情報誌「ロゼ」(年四回)の郵送サービス

★自主公演チケット優先受付
会員一人一公演につき二枚まで、一般発売日の前日12時(18時)に優先的にチケットが購入できます。

★チケット割引サービス
会員一人一公演につき二枚まで、入場料を10%割引させていただきます。

★ロゼイベントニュース(年六回)・文化情報誌「ロゼ」(年四回)の郵送サービス

入会申込書はロゼシアター、プレイガイド、公民館等にありませす。更新手続き・入会手続きとも七月二日から七月三十一日まで受け付けます。特に会員の更新を希望される方は、更新の手続きを忘れずと会員の特典が受けられなくなりますので、ご注意ください。

お問い合わせ
ロゼ・チケットセンター内
ロゼ・メンバーズクラブ事務局
☎0545-60-2500

チケットのお申し込み・お問い合わせは
ロゼ・チケットセンター
☎0545-60-2500 受付時間 9:00~19:00

プレイガイド
■すみや
富士本町店 ☎(0545)63-2233
富士中央店 ☎(0545)60-4567
■富士市センター
■ラ・ホール富士 ☎(0545)53-4300
■チケットセンター
■カワセ書店
■鷹岡店 ☎(0545)71-9592
■富士宮宮原店 ☎(0544)24-7160
■ユニサービスカウンター
吉原店 ☎(0545)51-9027(代)
富士宮大宮店 ☎(0544)24-0255(代)
■カワセ書店
■カワセ書店
■カワセ書店
■カワセ書店
☎(0545)51-5227